

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

# ベトレヘムの風

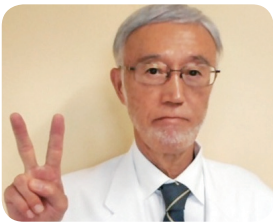
発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会  
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.88

## 『人一倍 病気の多い医師の入院』

院長 青木 信彦



もうすでに数ヶ月前のことですが、とある疾患で、とある病院に、入院しました。手術を含めて1週間程度で無事に退院となりました。

これまでも開腹胃切除など少くない入院経験があります。

手術は3回目ですが、その他の入院をふくめて、患者さんの多くが受ける主要な医療行為はほとんど体験しています。医者としてはどうか分かりませんが、患者としては経験豊富なベテランです。



今回、とくに印象的だったのは手術前後を含めて6人部屋の入院であったことです。ベトレヘムの園病院と比べて病室のスペースはかなり狭く、お隣さんとはカーテンでわずかに仕切られている程度です。隣同士の寝息も十分に観察できます。

手術前の問診などではナースステーションのすみで行われましたが、さすがに術後は動けませんので、医師、看護師からの説明などのやりとりのすべてはベッドサイドです。当たり前ですが、痛むキズを抱えながら、個人情報保護のために面談室などに移動することなどは現実的ではないのです。

6人部屋ではわずかな話もスミからスミまでツツヌケです。

自分のことも他の患者に聞かれてしましますが、同部屋の他の5人の病状も聞かつもりはなくてもツツサに耳に入ります。興味深い個人情報ばかりですので、寝ていても飽きることがありません。



今回の麻酔は腰椎麻酔（ルンバール）でした。苦戦して入った点滴とともに手術台に移動しました。「あおきさん、身体をエビのようにしましょうね、ちょこっと痛み止めのお注射をしますが、心配いりませんよ」などというさわやかなスタートでした。さて、麻酔の女医さんの登場です。局所麻酔の後に、「では針を入れます」で始まりましたが1発では入らず、また局所麻酔を別のところに注射して、再度トライ、しかしこれも不成功、さらにエビ固めを強力にしたり何度か繰り返すうちに、もう局所麻酔などという面倒な作業は省略して、雨あられの針攻撃です。止まない雨はありません。そのうちの一撃で左下肢に電気が走りました。正攻法ではありませんが、これで針が入るべきところに到達したことが分かりました（ヤレヤレ）。

術後のキズの痛みをこらえながらナースコールをするのは勇気がいるものです。その点、6人部屋は優れています。頻回にナースコールをする患者もいますので、呼ばれた看護師が来たときがチャンスです。カーテン越しに「あおきですが、〇〇××をお願いします」と気軽に便乗コールができるのです。

土日も予定入院のある出入りの激しい病院ですが、忙しい病院ほど看護師のムダ話が少ないようです。

入院時の看護師の問診では、職業の欄で「あー、お医者さんなんですね」などと言われますが、「医師免許を持っているだけです」と答えます。特別扱いなどで警戒されると、術後に余計な合併症が生じやすいなどとロクナコトがないのが一般的です。



また、担当のお医者さんには、従順に振る舞います。これが患者のできる手術成功のコツです。現在はパターンリズム（医師が一家の長であるかの如くに、一方的に治療方針を決定して、好き勝手な治療をすること）はNG、ということになっています。しかし、私は医者にみてもらうときには、一切口答えはしませんし、質問すらしません。ただ頭を低くして、お願いしますとだけ言います。このやり方で結果は良くなるのです。

治療結果の善し悪しは、医師のウデの悪さだけがすべてではありません。社会性の欠如した患者の態度（医師や看護師にやる気をなくさせるような）なども影響するものです。私たち患者は、「患者様」などと呼ばれたら、「イヤミ」だと思っくらの感受性を持ちたいものです。



ファミレスで「お客様」などと言われるのは当たり前ですが、病院とファミレスは同じではないことも知っておきましょう。

退院後もキズの痛みは長く続きましたが、仕事に精神を集中させることで楽になるものです。所詮、死ぬような病気ではないのですし、そんなふうに気持ちを切り替えることができるのもベテラン患者ならではの得意技です。みなさんの多くは患者としてはまだまだ未熟かと思いますが、何事も沢山の体験（病気やケガ）をして一人前に成長するのです。頑張ってください。

医師もそうですが、医療関係者が病気やけがで入院するときは、個人的には全く知らない病院を選択した方が良いでしょう。およそ大抵の疾患は普通に取扱えばなんとか治るようになっているのです。

人生、余計なことはしない、ということですね。





## 研修「キリストの心に触れる」に与って

・研修参加者：リハビリテーション科 渡邊 有希子(理学療法士) 井上 翼(理学療法士)

★お二人は、過去に学校などでキリストや聖書に触れることがあったようですが、改めてこの研修を受けてどうでしたか。

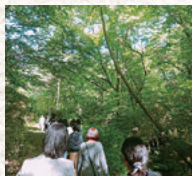
◆渡邊(以下、W)：聖書が伝えたい神様からの言葉を考える良い機会になりましたし、自分でどのようなことを伝えたいのかを考えることはとても興味深い体験でした。

◆井上(以下、I)：キリスト“愛”についての本質には触れてなかったので深く考えさせられました。放蕩息子のお話では、隣人愛や家族への愛というものをどう考えていけば良いのかを感じることができました。

★フロジャック神父様の生涯のお話のなかで“自らを犠牲に他者を助ける”については、どう感じましたか。

◆W：つい、様々な問題が起こって苛立つことや焦ってしまうことがあります。その時は、この言葉を思い出して、焦らず、今自分に出来ることは何か、今困っている人、困っていることは何かを考えて、仕事や日々の生活のなかで自分に関わるすべての人に対して接していきたいです。

◆I：自己犠牲を遣ない神父様の生き方から他人のために、身を粉にして働くことの大切さ、その行いは結果として自分に返ってくることを考えさせられました。また、今の自分にそのような振る舞いができるのか、どのようにこれから努力をしていけば良いのか、自分と向き合いました。



★これから仕事や生活上、自己研鑽していくなかで得られたことを教えてもらえますか。

◆I：今、触れた自己犠牲が仕事では心に置くことが無かったので、少し意識しながらこれからの業務に取り組んでいきたいです。また、自他共に喜びを感じられるような働きをしていきたいと思ひますし、フロジャック神父様の思いをしっかり残していけるよう、日々の業務をしっかりこなしていきたいと思ひています。

◆W：私も今を大切に患者様と向き合い、日々の業務に取り組んでいきたいです。忙しい自分の心と向き合い、これからどのように仕事をし、日々過ごしていくか考えるのは難しいですが、今回静かな環境のなか創立者の精神や聖書を読み解くことで、ゆっくりと自分を見つめ直す良い機会を頂くことができました。

・聞き手：山本 章(理学療法士)

## 永年勤続表彰を受けて

☆この度、勤続10年の表彰を受けることができ、感謝の気持ちで一杯です。創立記念ミサにも参加させていただき、フロジャック神父様の偉大さを改めて感じることが出来ました。



10年を振り返ると、あっという間に過ぎた気がします。その間色々な出来事があり、決して平坦な道ではなく、思い返すと涙なくして語れない出来事が多々ありました。苦悩が訪れる度に、先輩栄養士から「困難は乗り越えられる人にしか訪れない」だから頑張らなさい、と勇気づけられる言葉かけを何度もしてもらいました。正直、自分の所には訪れなくて結構ですと、何度思ったとか。ただ、幸いにも栄養科の職員をはじめ、他部署の職員にも大変恵まれ、皆様方の支えがあったから今も仕事が続けられています。心より感謝しています。これから先も色々なことが起こることと思いますが、一歩ずつ前進していけるように日々楽しみを見つながら前向きに頑張っていきたいと思ひます。

廣瀬 孝洋(管理栄養士)

☆ベタニアの家創立記念ミサに参加させて頂き、10年勤続表彰のお祝いまで頂き有難うございます。

創立88年とのことで、末広がりのおめでたい年のミサに出席できたことは忘れることのない思い出となりました。入職して非常勤の時も含めると14年余り、長いようで短かったなあと感じています。周りの助けも頂き、色々な事を学び習得した年月でした。全部、私の財産だと思っています。これからも、日々努力を続け、そして感謝の日々を過ごしていきたいと思ひます。

河野 妃登美(事務員・ICT担当)

☆10年前の1月、右も左も分からず不安ばかりの私を当時の職員の方々が温かく迎えてくれました。

10年前というと、国による大きな医療制度の改革があり(老人医療制度から後期高齢者医療制度へ)、当院も周章狼狽しながら夜を徹する覚悟で対応した事を今でも覚えています。あれから10年、色々な事を経験させて頂きましたが、

どんなに大変な時も必ず支えて下さる方々がいました。これから先の10年は誰かの支えになれるよう、感謝の気持ちを忘れず、今まで以上に精進して参りたいと思ひますので、変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

大崎 佐智子(医療ソーシャルワーカー)





# 有料老人ホームやサ高住のイロハお伝えします！

報告者：宮本 佳苗 医療ソーシャルワーカー

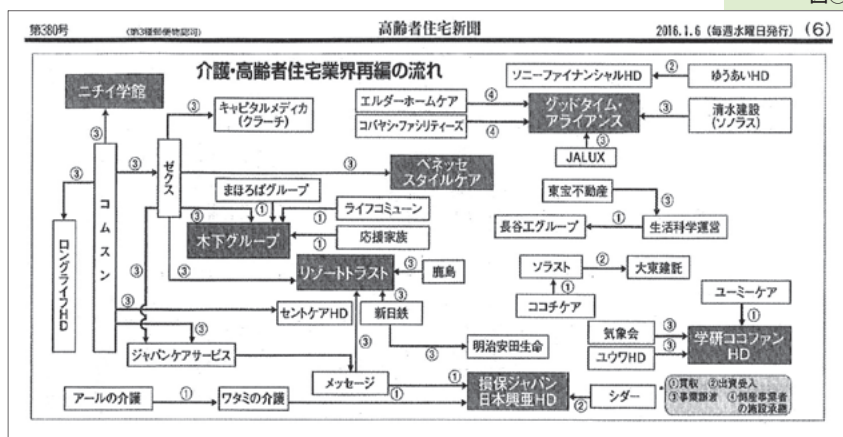
平成30年5月23日(水)、講師：笹川泰宏氏（㈱シニアホーム相談センター代表）

【有料老人ホームやサ高住のイロハ】を教えていただきました。参加者：24名

清瀬市内近隣市町村等の皆様が集まり、大盛況で、皆様の関心の高さを感じました。

まず、高齢者福祉を取り巻く歴史的な側面から施設サービス事業者の様々な変遷を伺い、現在の介護・高齢者住宅業界の再編までご説明いただきました。設置している企業の得意分野（建てることや、ケアを入れることなど）についてもわかりやすく、吸収合併の経緯などはニュースで見聞きしたような事柄と密接に関係しており、興味深く伺いました。（図①）

お気持ちを強く感じ取る機会となりました。今後も、皆様の知りたい、知っておきたい気持ちに沿った講座が提供できるよう企画していきたいと思います。



また、高齢者の主な住まいと入居条件（図②）については一見分かりにくい様々な施設を細かく整理し、お伝え頂きました。

健康状態と費用から見た高齢者の住まい・施設（図③）では、大まかにではありますが入居等を検討する際の自身の健康状態や医療依存度などで、どのあたりの施設が適応となるかをお示しいただき、皆様からの質疑も多く出ていた関心の高い項目でした。費用についてもクーリングオフの適用や入居金のからくりについても分かりやすくご説明いただきました。

終わりの時間が迫り、駆け足となりましたが、短時間でホームを見抜くポイント（図④⑤）については、写真を多用し分かりやすくご紹介いただきました。まだまだ聞き足りない、話したりないという会場の様子で、1時間程度の予定が皆様からの質疑も多く、2時間近くの有意義な時間となりました。

お越しいただいた皆様の関心の高さから、自分の行く末について自分で選択しておきたい！ 知っておきたい！ という



図② 高齢者の主な住まいと入居条件

| 住まいの種類                | 主な特徴・入居条件                                                                  |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| サービス付き高齢者向け住宅（サ高住・サ宅） | バリアフリー構造の賃貸住宅。少なからず在宅介護と生活支援サービス。60歳以上。自立～要介護。                             |
| シルバーハウジング             | 比較的若年性で、生活支援サービスが充実。サ高住に類似。主に所得の高い人向け。60歳以上（夫婦なら70歳）。障害者世帯等。障害者と家族が同居する世帯。 |
| 有料老人ホーム（有料）           | サービス入居に比べて専断型。但し、介護・生活支援のサービスは充実。要介護は、介護職員が常駐して対応。入居～要介護。                  |
| ケアハウス・軽費老人ホーム         | 介護職員が常駐する施設。中高年の高齢者に限られる。主に所得の高い人向け。介護職員が常駐して対応。入居～要介護。                    |
| 認知症高齢者グループホーム         | 認知症高齢者のグループホーム。介護職員が常駐。介護・生活支援サービスが充実。入居～要介護。                              |
| 特別養護老人ホーム（特養）         | 要介護の高齢者を収容する施設。介護職員が常駐。介護・生活支援サービスが充実。入居～要介護。                              |
| 老人保健施設（老保）            | 介護・生活支援サービスが充実。介護職員が常駐。介護・生活支援サービスが充実。入居～要介護。                              |
| 介護付有料老人ホーム            | 介護・生活支援サービスが充実。介護職員が常駐。介護・生活支援サービスが充実。入居～要介護。                              |

図③ 健康状態と費用から見た高齢者の住まい・施設

| 健康状態      | 費用（月額）                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自立（健康に近い） | 有料老人ホーム：入居金：数千万円、月額：10万～20万円                                                                                                                                                                                               |
| 要介護       | サービス付き高齢者向け住宅：入居金：0円～10万円、月額：8万～15万円<br>軽費老人ホーム（ケアハウス）：入居金：0円～10万円、月額：8万～15万円<br>認知症高齢者のグループホーム：入居金：0円～10万円、月額：13万～25万円<br>老人病院（療養型施設）：入居金：なし、月額：8万～25万円<br>老人保健施設（療養型施設）：入居金：なし、月額：8万～25万円<br>特別養護老人ホーム：入居金：なし、月額：8万～20万円 |

- 図④ 短時間でホームを見抜くポイント
1. エントランスの雰囲気・出迎え、受付の対応  
ここで7割～8割決まる事が多い
  2. 浴室とナースステーションの見学  
浴室⇒衛生面 ナースステーション⇒医療
  3. 医療対応のフロアの見学  
医療フロアの見学で医療行為を実際に見る
  4. 入居者の表情・服装  
食事の時間等がベスト スタッフの表情も確認
  5. 施設全体の清潔感  
脱衣室が片付いていないと全体で整理整頓ができていない  
スリッパが汚れていると備品も古い。廊下や壁に傷が多い

- 図⑤ 短時間でホームを見抜くポイント
1. 持っていくと便利な物（メガネ、カメラ、質問用紙）
  2. エントランスの雰囲気は明るかったですか？
  3. 現場の看護または介護担当者と同席してもらいましょう。
  4. スタッフの表情は明るいですか？身だしなみや言葉遣いは？
  5. 質問に対し納得のいく説明が返ってきましたか？
  6. 入居者の表情・服装・清潔度はどうでしたか？
  7. 施設全体の清潔度・臭い・採光・整理整頓はされていませんか？
  8. 昼食の試食を必ずおこないましょう。（予約時に注文）
  9. 公共交通機関を利用して見学（片道だけでも）してください。
  10. 気に入れば重要事項説明書を手に入れます。

## 平成29年度 決算報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 事業収支計算書 (単位:千円)

| 収益の部                |                | 費用の部                |                |
|---------------------|----------------|---------------------|----------------|
| 介護保険事業収益            | 60,555         | 人件費                 | 631,833        |
| 医療事業収益              | 827,727        | 事業費・事業費ほか           | 148,496        |
| 経常経費寄付金収益           | 1,015          | 減価償却費               | 37,950         |
| サービス活動外収益           | 5,105          | サービス活動外費用           | 25,063         |
| 特別収益                | 170            | 特別損失                | 26,114         |
| <b>&lt;収益合計&gt;</b> | <b>894,572</b> | <b>&lt;費用合計&gt;</b> | <b>869,456</b> |
|                     |                | <b>&lt;当期損益&gt;</b> | <b>25,116</b>  |

## [コメント]

- ①介護療養病床から医療療養病床への転換が順調に進み、収入も大幅に増加した。  
 ②引き続き人材への積極的な投資を進め、医療の質向上に努めた。一方で設備投資は必要な案件に厳選し、計画的に行なった。  
 ③事業収支は大幅に改善。資金収支も、積立の要因を除いた実質ベースでは4,000万円を超える黒字を計上出来た。

## 資金収支計算書 (単位:千円)

| 収益の部                |                | 費用の部                  |                |
|---------------------|----------------|-----------------------|----------------|
| 介護保険事業収入            | 60,555         | 人件費支出                 | 614,876        |
| 医療事業収入              | 827,727        | 事業費・事業費支出ほか           | 173,559        |
| その他収入               | 6,120          | 施設整備等支出               | 23,317         |
| 施設整備等収入             | 231            | その他の活動支出              | 74,029         |
| その他の活動収入            | 10,170         |                       |                |
| <b>&lt;収入合計&gt;</b> | <b>904,803</b> | <b>&lt;支出合計&gt;</b>   | <b>885,781</b> |
|                     |                | <b>&lt;当期収支差額&gt;</b> | <b>19,022</b>  |

## ひふの話

その  
41

市川 雅子(皮膚科医師)

## 水ぶくれを作る皮膚病 ～類天疱瘡について～

水ぶくれ(水疱)を作る病気は、実はとてもたくさんあります。身近な例としては、ヤケドや虫刺さされがありますが、ヘルペスや水ぼうそう(水痘)、とびひ(伝染性膿痂疹)、みずむし(白癬)などの皮膚感染症、そして類天疱瘡などの自己免疫性水疱症、重症薬疹なども水疱を作ります。今回はその中で水疱性類天疱瘡についてお話します。この病気は、なぜか高齢者に多くみられます。皮膚の中の表皮層の一番下にある基底膜という部位を攻撃するものが体の中にできてしまい、そこで炎症がおこり剥がれてくるために水疱を作るのです。ヒトの体の中では、自分の体を攻

撃する物質(自己抗体)は通常作られませんが、免疫系がおかしくなり自己抗体が作られてしまうのです。炎症が起こり始めると皮膚が赤くかゆくなってきます。そのうち大きな水疱があちこちにできてきます。最初はじんましんなどに見えるのですが、大きな水疱が出てくると、この病気の可能性があります。診断は血液検査や組織検査でおこないます。治療には主として副腎皮質ホルモン剤(ステロイド剤)を使います。なお、「類」がつかない「天疱瘡」という、自己免疫性水疱症でも別の疾患グループがあります。素人目には、同じ病気に見えますが、発症機序、症状や経過、治療法などに若干違いがあります。また、注意して頂きたいこととして、水疱症の時は一見正常に見える皮膚を強くこすったり引っ掻いたりすると、そこに新たな水疱ができやすいので、特にテープや湿布などを皮膚になるべく貼らないようにして下さい。はがす刺激で水疱ができやすいためです。

## お知らせ

## ランチ付き 公開健康講座

平成30年7月27日(金) 11:30～12:30

場所:当院会議室

ビタミンDとK

『丈夫な骨を作しましょう』

講師:平澤佑実彦(薬剤師)

廣瀬孝洋(管理栄養士)

参加費:無料

申し込み:医療相談室まで電話予約  
(限定15食予約制)学習支援「はなみずき」中学生の部  
7月よりスタート!

6月から始めた小学生の部に続き、地域のニーズに合わせて7月より中学生の部を始めます。「学校の授業についていくのが大変!」「一人ではテストに向けての準備ができない」などの悩み、受験に向けての準備を大学生が少人数指導でサポートしていきます。家庭の事情で塾に通うことが困難なお子様を対象です。登録制となっておりますので、まずは担当者までご相談ください。

連絡先: ☎042-491-2525

ベトレヘムの園病院 菊池・大和

■平成30年度

『特定健康診断』実施中  
平成30年6月1日(金)～12月28日(金)

■協会けんぽ

『生活習慣病予防検診』実施中  
平成30年7月1日(日)～  
平成31年3月29日(金)

※受診時点で「協会けんぽ」の加入者  
ご本人であること。  
どちらも予約申し込みが必要です。  
医事課までお問い合わせください。  
☎042-491-2525

## 編集後記

最近、ベトレヘムの園内には子どもたちの姿が目につくようになり、愛らしい声、つばらな腫とあどけない表情、何気ないしぐさ、個性を包むよそおい等々。子どもたちと出会うと、私は“こんにちわ! かわいい!”とすぐ近寄ってしまいます。するとすぐにサインを出してくれます。手を出してくれたり、遠慮がちの笑顔だったり、小さな全身で喜ん

でくれたり、びっくりして保育士さんの方に向きを変えたり、どんな反応も私の心を癒してくれます。そしてきょうはいいことがありそうと思えるのです。

そしてマルコ福音にある「イエスは子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福された」(10章16節)というみ言葉を想い起こしてくれるのです。(Jk・T)